

平成30年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

図1 実施率の推移

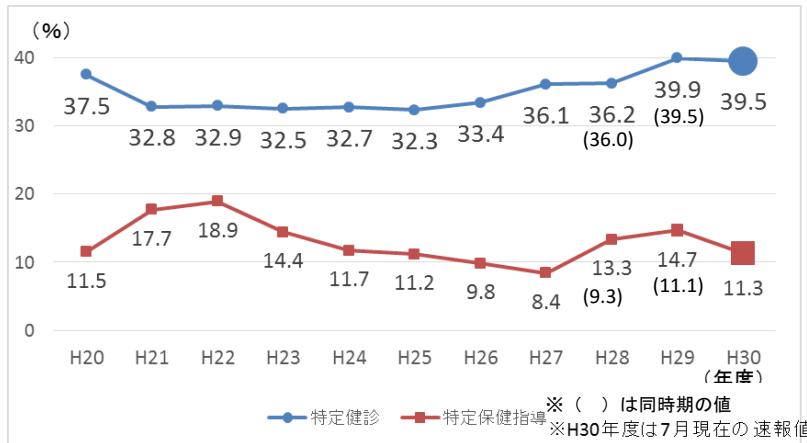


表1 H28~H30年度 目標と実績

| | | H28 | H29 | H30 |
|----|----|------|------|------|
| 健診 | 目標 | 43.0 | 45.0 | 39.5 |
| | 実績 | 36.2 | 39.9 | 39.5 |
| 指導 | 目標 | 30.0 | 35.0 | 16.5 |
| | 実績 | 13.3 | 14.7 | 11.3 |

表2 H29年度保険者間での実施率の順位

| | 政令市 20 | 県内市町村 54 |
|----|--------|----------|
| 健診 | 2(↑) | 25(↑) |
| 指導 | 10(↑) | 44(→) |

表3 H30年度 実施内容と実施状況

| | 実施内容 | H30年度の状況 |
|----|---|-------------------------------|
| 健診 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)のリスクに着目した、生活習慣病を予防するための健診。40~74歳が対象。 | 対象者数:136,002人 受診者数:53,720人 |
| | 特定健診の結果、生活習慣改善の必要があるとされた方に実施する6か月間の保健指導。 | 対象者数:6,211人 終了者数:702人 |
| 指導 | 動機付け支援 初回面接+3~6か月後評価 | 対象者数:4,903人 終了者数:618人 |
| | 積極的支援 初回面接+毎月の継続支援+3~6か月後評価 | 対象者数:1,308人 終了者数:84人 |

データヘルス計画 指標ごとの実績

| 目標 | 事業(対策) | H30年度事業概要 | 評価指標 | H28 | H29 | H30 | | | | |
|---|----------------|--|---|--------|--------|---------------|-------------|-------|---|---|
| | | | | 実績 | 実績 | 速報値 | 目標値 | 達成状況 | 評価 | |
| 1 特定健康診査の受診率の向上 | 健診未受診者への受診勧奨 | 民間業者に委託。対象者は、健診受診歴、過去の問診結果、年代、国保加入時期等で分類し、各分類に合わせた勧奨通知を送付。携帯番号を取得した者は、SMS(ショートメッセージ)で勧奨。 ①はがきによる受診勧奨 1回目発送85,916件、2回目発送90,794件 計176,710件 ②ショートメッセージサービスでの勧奨(8145件) | 40~64歳の受診率 | 26.0% | 26.2% | 25.9% | 26.6% | × | 企画提案方式で前年度と同一事業者が選定された。ノウハウを活用し、複数パターンの通知とショートメッセージサービスの勧奨を行うが、受診率はやや下がる見込み。年代別に見ても受診率は前年度より低下した。⇒R1年度も同一業者に委託。勧奨時期の開始を早め、健診データ提供に対する500円程度の謝礼を行う制度を開始する。 | |
| | | | 65~74歳の受診率 | 44.3% | 48.4% | 47.8% | 47.5% | ○ | | |
| | 長期未受診者*1割合 | 46.6% | 45.7% | 43.7% | 44.0% | ○ | | | | |
| | 継続受診の促進 | 8月に健診結果のお知らせ(対象者74,295人)を送付。平成25~29年度に受診歴がある対象者に経年結果を通知し、継続受診の必要性を伝える。 | 継続受診率*2 | 67.7% | 69.1% | 72.7% | 73.0% | △ | 実績は目標値を下回る見込みである。⇒R1年度も事業を継続実施。受診勧奨の一環とする。 | |
| 2 特定保健指導の実施率の向上 | 利用促進 | 民間事業者へ委託。対象者に3パターンの通知を送付し、動機づけ支援希望者と積極的支援対象者には架電による特定保健指導の利用開始及び継続利用を勧奨する。 | 利用率*3 | 動機付け支援 | 17.2% | 18.8%*5(14.3) | 15.0% | 21.3% | △ | ・実施率は前年度同時期よりも上昇。利用率は、前年度同時期よりも動機付けは上昇、積極的は低下。終了率は積極的は上昇、動機づけは上がる見込み。 ・H30から保健指導未利用者に通知発送後に、積極的支援は全数に、動機づけ支援は希望者に、架電勧奨した。利用につながれば、終了率は高いため、効果的な利用勧奨が課題である。 ⇒R1年度からは動機づけ支援についても民間事業者への委託を拡大、専門職が受診勧奨を行う。 |
| | 保健指導における利便性の向上 | H28より積極的支援の実施機関を健診実施医療機関以外に民間事業者にも拡大し、初回面談の夜間・休日実施や電子メール等による保健指導により、利用者の利便性を高める。 | | 終了率*4 | 動機付け支援 | 87.6% | 85.3%(83.7) | 84.3% | 87.6% | |
| 3 適正な医療の推奨と重症化予防 | 受療勧奨と保健指導 | 特定健診の結果、要医療となった人を対象に、事前通知後に、保健師・看護師が訪問・電話等により受診勧奨及び生活習慣の指導を行う。また、初回指導から6か月後に電話等で通院の有無及び生活習慣改善状況を確認し、再度、指導を行う。 人工透析導入防止のために、千葉市医師会と連携し、糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクの高い方を対象に6か月間保健指導を行う。 | 受療率 | 23.3% | 27.8% | 28.5% | 25.3% | ○ | ・受療率は前年度よりも上昇し、目標値に達している。対象者1,048人に通知を送付、訪問や電話により821人に勧奨をした。 ・高血圧の改善を除き、血糖コントロール不良者割合、脂質異常症の割合は、目標未達だが前年度より減少または同値である。 ⇒健診受診者には、検査の基準値など健診結果の見方や生活習慣病予防について記載した「みんなで進めよう!健康づくり」の小冊子を配布している。また、生活習慣病のリスクが高い方には、健康課で実施している健康相談や健康教室等の事業案内を送付している。 ・新規透析患者数は、前年度より減少した。 ・H28年度よりモデル事業を実施、R1年度から本格実施へ。(35人実施予定) | |
| | | | 高血圧値の改善(収縮期血圧の平均値の改善) 単位:mmHg | 男 | 130.1 | 129.9 | 130.3 | 129.9 | | × |
| | | | | 女 | 127.3 | 127.4 | 127.5 | 127.1 | | × |
| | | | 血糖コントロール不良者の割合の減少 (HbA1c8.4%以上の割合) 単位:% | 40-64歳 | 0.91 | 0.97 | 0.92 | 0.87 | | △ |
| | | | | 65-74歳 | 0.65 | 0.79 | 0.78 | 0.61 | | △ |
| 脂質異常症の減少 (LDLコレステロール160mg/dl以上の割合) 単位:% | 男 | 9.7 | 10.6 | 10.6 | 9.1 | △ | | | | |
| | 女 | 15.2 | 16.0 | 15.7 | 13.8 | △ | | | | |
| | 新規透析患者数 | 136人 | 132人 | 115人 | 減少 | ○ | | | | |

*1 5年間健診を利用していない者の割合 *2 前年度の健診を受診している者全数のうち、当該年度健診受診者の割合。H29以前の数値は母数に資格喪失者も含む。 *3 保健指導対象者のうち初回面接を受けた者の割合
*4 初回面接を受けた者のうち3か月(H30)/6か月(H29)間の指導を終了した者の割合 *5 ()内は昨年同月の値
達成状況 ○:目標達成 △:目標未達だが、前年度より改善または同値 ×:目標未達だが、前年度より悪化